

単位施策評価シート（平成25年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H26 年 4 月 28 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	1	交通対策
基本施策	1	交通対策	単位施策	(3)	人にやさしい移動環境の整備
主管課	都市整備課		関連課	-	
				総合計画書 ページ番号	162
現状と課題	・岩倉駅東西地下連絡道及び岩倉駅構内のエレベーターの設置により、岩倉駅周辺においても人にやさしい街づくり計画等に基づき人にやさしい道ネットワーク整備が進むなど、安全で快適な歩行空間の創出が図られているが、市域全体では依然として段差解消や点字ブロックの設置が必要な道路が多数存在している。 ・市内の公共施設でも、ユニバーサルデザインの導入により、施設の整備、改善を実施しているが、構造的に対応が不可能な場合の検討が必要となっている。				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	新たに整備される都市計画道路については、道路構造令に基づき整備を行っている。また、その他の公共施設整備にあたっては、平成7年度に策定した「岩倉市人にやさしい街づくり計画」及び平成22年度に見直しを実施した設計・施工上の技術的基準に従い整備を行っている。平成25年度は中央公園内の公衆便所を建替え、バリアフリー対応を行った。
今後の取組	・現状の自転車、歩行者交通量を踏まえ、優先的に整備が必要な箇所を選定していく。 ・新設される公共施設については、「岩倉市人にやさしい街づくり計画」及び平成22年度に見直しを実施した設計・施工上の技術的基準に従い整備を行う。 ・既存の施設で物理的に改善が不可能な施設も多数ある。ハード面での整備が困難な場合は、人的介助などソフト面で対応できるよう心のユニバーサルデザインの啓発活動を市民団体との協働により推進する。	

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	子どもや高齢者にとって安全に徒歩や自転車以外で外出できるまちだと思える市民の割合	%	H22	28.7	-	-	-	30.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	歩行空間のバリアフリー化等の推進	主管課	都市整備課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	○	新たに整備される都市計画道路等については、道路構造令に基づき整備を行っている。												
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値					
	歩行空間がバリアフリー化されている都市計画道路の数		路線	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
				H21	3	3	3	3	4					
事業	事務事業名		事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化	
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計
	1	都市計画道路桜通線街路改良事業	-	○	○	○	○	-	-	4,198千円	967千円	5,165千円	拡大	○
	2	都市計画道路北島藤島線街路改良事業	-	○	○	○	○	-	-	339,655千円	1,160千円	340,815千円	拡大	-
3														

個別施策	②	公共施設のバリアフリー化等の推進	主管課	都市整備課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	○	都市計画道路以外の公共施設整備にあたっては、平成7年度に策定した「岩倉市人にやさしい街づくり計画」及び平成22年度に見直しを実施した設計・施工上の技術的基準に従い整備を行っている。平成25年度は中央公園内の公衆便所を建替え、バリアフリー対応を行った。												
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値					
	多目的トイレが整備された公園数		園	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
				H21	11	11	12	13	13					
事業	事務事業名		事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化	
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計
	1	中央公園公衆便所等改修工事	-	-	-	○	○	-	-	22,050千円	309千円	22,359千円	完了	-
	2													
3														

単位施策評価シート（平成25年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H26 年 4 月 28 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	2	道路
基本施策	2	道路	単位施策	(3)	道路・橋梁の維持管理の充実
主管課	都市整備課		関連課	-	
現状と課題	・市民生活に直接影響する道路及び橋梁を適正に維持管理することは必要不可欠なことである。また、生活道路だけでなく都市間交通網の一翼を担っている幹線道路の維持補修については、大型車交通量の増加に伴い沿線住民への騒音、振動の原因ともなることから、損傷箇所の早期発見と計画的な修繕計画に従い、最小経費で最大効果を実現することが必要である。 ・道路は、災害時における避難路や物資等の輸送路としての役割を持っており、とりわけ橋梁の損壊は、道路を遮断し復旧に時間を要し、さらに費用も膨大となることから橋梁の長寿命化を図ることが必要である。				
				総合計画書 ページ番号	166

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	橋梁については、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、幹線道路の舗装修繕は、平成25年度に実施した路面性状調査に基づき修繕計画を策定しており、計画的に修繕を進めていく。なお、日常の道路パトロール等により道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。
今後の取組		・市内道路の骨格を形成している幹線道路の維持修繕については、路面性状調査の結果を基に整備路線の優先順位及び整備方法を決定し、計画的に修繕を実施する。 ・橋梁は、平成25年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な維持管理に努める。 ※路面性状調査：舗装のわだちや亀裂等の状況を数値化する調査。

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	橋梁長寿命化修繕計画策定	-	H20	-	-	点検	策定	策定
	まわりの道路の舗装状況に満足している市民の割合	%	H20	85.5	-	-	-	87.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	計画的な維持管理の推進	主管課	都市整備課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	○	橋梁については、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。また、幹線道路の舗装修繕は、実施した路面性状調査の結果に基づき、今後10年間の修繕計画を策定した。												
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値						
	橋梁長寿命化修繕計画策定	-	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)						
	幹線道路舗装修繕率	%	H21	-	-	調査設計	10.0	20.0						
事業	事務事業名	事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化		
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計	
	1	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	-	○	-	○	○	-	-	1,134千円	967千円	2,101千円	完了	-
	2	舗装側溝整備事業	-	○	-	○	○	-	-	161,252千円	1,053千円	162,305千円	維持	-
3	橋梁長寿命化事業	○	○	-	-	-	-	-	0千円	696千円	696千円	拡大	○	
個別施策	②	危険箇所の早期発見と早期維持補修	主管課	都市整備課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	○	日常の道路パトロール等により、道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。												
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値						
	道路舗装等に対する地元からの要望箇所数	か所	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)						
			H22	42	30	31	44	25						
事業	事務事業名	事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化		
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計	
	1	公共施設維持管理費	-	○	-	○	○	-	-	4,515千円	290千円	4,805千円	維持	-
	2	舗装側溝整備事業	-	○	-	○	○	-	-	161,252千円	1,053千円	162,305千円	維持	-
3	道路維持費	-	○	-	○	○	-	-	39,021千円	851千円	39,872千円	維持	-	

単位施策評価シート（平成25年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H26 年 4 月 14 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	6	上水道
基本施策	6	上水道	単位施策	(1)	安心で安定的な供給
主管課	上下水道課		関連課	-	
				総合計画書 ページ番号	181
現状と課題	<p>・市民に安全な水を安定的に供給するためには、今後、更新時期を迎える水道施設について、計画的に施設更新を実施していくことが重要である。</p> <p>・老朽管については、耐震性が低く、災害時に多大な被害が想定され、漏水事故の主な原因にもなり、安定給水と有収率の向上の観点から布設替え等の更新を計画的に行い、耐震化を図ることが重要である。</p> <p>・美味しい、安全な水を確保するためには、揚水量、地下水位、水質等の管理を適正に行うとともに、水源施設の適切な浄水処理や水質監視の強化を図り、水源水質の保全に努めることが重要である。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	老朽管対策の配水管整備について、第3期配水管整備事業計画に基づいて、着実に整備事業を進めている。整備の進捗状況は、平成19年度から平成28年度までの10年間で、全体延長23.8km、総事業費873,000千円で整備する計画で、平成25年度末で、約14.3kmが完了し、整備率が60.1%である。今後、整備率向上に努める。
今後の取組	<p>・自己水源は、安定給水や危機管理面でも有用な資源であることから、更新時期を迎える水道施設について、今後も更新計画に沿って進めていく。</p> <p>・老朽管対策として、平成18年9月策定の第3期配水管整備事業計画（平成19年度～平成28年度）に基づき、水圧不足解消のための配水管拡張やブロック化を進めているが、引き続き、計画的な配水管設備事業を着実に進めていく。</p> <p>※総合計画に記載されている単位施策の指標は、平成21年度の基準年度のものである。平成23年度策定の岩倉市水道ビジョンにおいて、有収率の見直しを行った。（平成27年度 93.7%→91.3%）</p>	

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	有収率	%	H21	92.7	90.9	90.9	92.5	93.7

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	水資源の確保	主管課	上下水道課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	○	水源施設の定期的な水質管理や点検等により、安定した自己水配水量を確保することができた。												
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値						
	自己水配水量（依存率）	%	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)						
			H21	35.8	35.7	36.0	35.2	37.0						
事業事業	事務事業名	事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化		
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計	
	1	配水施設機械設備等更新事業	-	-	-	○	○	-	-	24,360千円	754千円	25,114千円	維持	-
	2													

個別施策	②	水道施設の計画的な整備・更新	主管課	上下水道課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	○	老朽管対策の配水管整備について、第3期配水管整備事業計画に基づいて、着実に整備事業を進めている。漏水の発見及び通報への迅速な対応により、有収率が増加した。												
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値						
	有収率	%	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)						
			H21	92.7	90.9	90.9	92.5	93.7						
事業事業	事務事業名	事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化		
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計	
	1	第3期配水管整備事業	-	○	-	○	○	-	-	73,185千円	1,857千円	75,042千円	維持	○
	2	配水管設備事業（公共下水道関係）	-	-	-	○	○	-	-	15,172千円	580千円	15,752千円	維持	-
3	積算システム構築	-	-	-	○	○	-	-	360千円	348千円	708千円	維持	-	

個別施策	③	水質管理の充実	主管課	上下水道課										
評価及び理由	評価	評価理由												
	◎	水質管理は、水質の検査を毎日及び定期的に行い、水質を管理している。検査結果は、すべて基準に適合している。												
指標情報	指標名		単位	基準値		現状値			目標値					
				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	水質検査基準適合率		%	H21	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
事務事業	事務事業名		事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化	
			新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計
	1	配水施設等運転管理業務	—	—	—	○	○	—	—	18,690千円	433千円	19,123千円	維持	—
	2	水質検査等委託料	—	○	—	—	○	—	—	9,475千円	46千円	9,521千円	維持	—
3	配水場等機器保守点検委託料	—	—	—	—	○	—	—	3,097千円	46千円	3,143千円	維持	—	

単位施策評価シート（平成25年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H26 年 4 月 14 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	6	上水道
基本施策	6	上水道	単位施策	(3)	運営基盤の強化
主管課	上下水道課		関連課	-	
現状と課題	・少子高齢化の進展や節水機器の普及などにより給水収益の大幅な増加が見込めない中、今後、水道事業の経営は、大変厳しい状況になるものと予想される。 ・今後、更なる水道事業の安定的経営を図るためには、事務業務の改善、業務委託の推進、新たな情報技術（管路マッピングシステム）の活用などに取り組んできたが、さらに、情報収集に努め、事業の健全化を図る。 ・収納率向上に向けて、利用者ニーズを的確に把握し水道料金の支払等の利便性やサービス向上を図りながら、信頼される水道事業を構築することが今後の課題である。				
					総合計画書 ページ番号
					182

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	アセットマネジメント手法により平成23年度に策定した岩倉市水道ビジョンの計画に沿って、持続的な事業運営と共により一層のサービスの向上を図りながら、信頼される水道事業に取り組んだ。
今後の取組		・水道事業の安定的経営を維持するには、収納率の向上が必要不可欠である。 ・平成26年度は、更なる収納率の向上に向け、高額滞納者や長期滞納者をいかに減らしていくかが重要で、効果的な対策に取り組んでいく。 ・水道事業の安定的経営の観点からも今後行っていく基幹管路耐震化事業等について、工法を見直し等を行っていく。 ・広報紙等での財政状況の公表について、わかりやすい情報提供を行っていく。

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	現年度収納率	%	H21	98.1	98.4	98.3	98.3	98.5

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	経営の健全化	主管課	上下水道課									
評価及び理由		○	アセットマネジメント手法により平成23年度に策定した岩倉市水道ビジョンの計画に沿って、持続的な事業運営に取り組んだ。広報紙で財政状況等について周知している。										
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	現年度収納率	%	H21	98.1	98.4	98.3	98.3	98.5					
事業	事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
1	検針徴収総合業務	-	-	-	○	○	-	-	28,140千円	2,831千円	30,971千円	維持	○
2													
3													

個別施策	②	利用者サービスの向上	主管課	上下水道課									
評価及び理由		○	管路マッピングシステムにより、窓口対応等の迅速化を図るなど、より一層の利用者サービスの向上に取り組んだ。										
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	コンビニ収納件数	件	H21	15,983	16,814	16,663	17,798	18,000					
事業	事務事業名	事業種類							投入コスト			今後の方向性	重点化
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費	計		
1	上下水道システム事業	-	-	-	○	○	-	-	2,670千円	1,888千円	4,558千円	維持	-
2	管路情報管理システム事業	-	-	-	○	○	-	-	3,069千円	2,631千円	5,700千円	維持	-
3	改正企業会計の導入	○	-	-	-	-	-	-	0千円	0千円	0千円	拡大	-

単位施策評価シート（平成25年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H26 年 4 月 14 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	7	下水道
基本施策	7	下水道	単位施策	(2)	下水道事業に対する理解促進
主管課	上下水道課		関連課	-	
				総合計画書 ページ番号	184
現状と課題	<p>・公共下水道供用開始区域及び工事区域の住民の方に対する公共下水道の必要性については、接続促進訪問や説明会を通じて周知を行っているが、その他の市民の方には普及啓発のPRが行き届いていない現状がある。市民全体に対して浸水対策を含めた形で水環境の整備促進の必要性を広報紙、HP、出前講座等を活用し啓発していく必要がある。</p> <p>・供用開始後1～3年の地域を中心に接続促進訪問を行い、接続の依頼をすとも未接続理由をヒアリングしている。</p> <p>・ヒアリングの結果、金銭面の負担から接続を見送っている家屋が多かったが、他にも、「全く考えていなかった」「下水道に関心がない」「現状で何も不自由していない」「周囲が接続していないのでも接続しない」といった回答があった。このような回答が多いのは、下水道整備に伴う水環境の改善が日々の生活の中で意識されにくいことや、下水道の必要性・重要性が市民に周知されていないことが原因であると考えられる。そのため、市民への広報活動に力を入れ、下水道への理解を促す必要がある。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	新規下水道接続対象者にパンフレットを配布する、接続促進訪問の頻度を増やす等一定のPRはしているが、公共下水道供用開始区域の住民への公共下水道普及への理解を得る説明に留まっている。
今後の取組	<p>・平成24・25年度は、リフォーム補助金制度の効果が見られ接続件数も堅調に推移している。平成26年度も、これまでの接続促進において経済的理由で接続していなかった家屋を中心に接続促進訪問を行い、平成25年度よりも多くの接続を目指す。</p> <p>・平成25年度は、事業所排水の管理状況を把握するため下水道本管の検査を行った。今後も、公共下水道本管の長寿命化を目的とした適切な維持管理を行うため計画的な管理計画を進めていく。</p> <p>・平成26年度は、いづから市民ふれ愛まつりにおいて下水道PRを行うことを検討している。</p>	

3 単位施策の成果指標（総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載）

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	下水道出前講座・見学会参加者数	人	H21	0	130	126	0	100

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	生活排水対策の強化	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	下水道の日に合わせて、市の広報にて生活雑排水に対する配慮を呼びかけた。また、愛知県主催で水処理を理解してもらうために五条川右岸浄化センターで親子下水道教室が行われ、下水道に対する意識啓発に繋がった。											
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	下水道出前講座・見学会参加者数	人	H21	0	130	126	0	100					
	親子下水道教室参加者数	人	H22	200	160	120	60	200					
事業	事務事業名	事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化	
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計
	1	下水道出前講座事業	-	○	-	-	-	○	0千円	12千円	12千円	維持	-
	2												
3													

個別施策	②	広報活動の充実	主管課	上下水道課									
評価及び理由	評価	評価理由											
	○	接続促進訪問（年4回）や工事説明会、負担金の説明会にてパンフレットを配布するなどして下水道の必要性等をPRしている。											
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値					
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)					
	接続促進訪問家屋数	件	H21	66	204	242	271	200					
	工事説明会	回	H21	2	2	2	1	2					
	受益者負担金説明会	回	H21	1	1	2	1	2					
事業	事務事業名	事業種類						投入コスト			今後の方向性	重点化	
		新規	主要	マニフェスト	実計	予算	協働	その他	事業費	人件費			計
	1	接続促進事業	-	-	-	-	○	-	12千円	248千円	260千円	維持	○
	2	工事説明会資料作成事務	-	-	-	-	○	-	7千円	46千円	53千円	維持	-
3	負担金説明会資料作成事務	-	-	-	-	○	-	3千円	46千円	49千円	維持	-	

